

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成18年度～平成22年度												
事業実施地区名 （都道府県名）	高梁川下流森林計画区 （たかはしがわかりゅう） （岡山県）	事業実施主体	近畿中国森林管理局 岡山森林管理署												
事業の概要・目的	<p>高梁川下流森林計画区に所在する国有林野9,626haを対象とし、岡山県西部の新見市を中心に散在しているほか、瀬戸内海沿岸部に小面積の団地が所在している。国有林野は計画区の森林面積の6%であるが、水源かん養を目的とした保安林が65%を占めており、下流域の水源として重要な役割を果たしている。都市近郊に所在する国有林野は、登山やハイキングなど森林を利用したレクリエーション・保健休養の場として多くの人々に利用されている。</p> <p>また、森林全体の人工林率は78%で木材の安定供給への要請も高い。</p> <p>本事業はこれらの要請に応えながら奥地林、里山林など立地特性も踏まえつつ森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>89 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>2,473 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>6.9 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.1 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	89 (ha)		保育面積	2,473 (ha)	路網整備	開設延長	6.9 (km)		改良延長	0.1 (km)
森林整備	更新面積	89 (ha)													
	保育面積	2,473 (ha)													
路網整備	開設延長	6.9 (km)													
	改良延長	0.1 (km)													
費用対効果分析	総費用 (C)	1,016,420千円													
	総便益 (B)	水源かん養便益	1,800,682千円												
		国土保全便益	832,689千円												
	環境保全便益	168,898千円													
	林業生産便益	1,145,575千円													
	森林整備経費縮減等便益	44,991千円													
	計	3,992,835千円													
	分析結果 (B/C)	3.93													
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>														